

《こうばへ行こう》 東大阪市もの作り見学

11月14日 11:30～14:30

昭和42年2月に布施、河内、枚岡の3市が合併して東大阪市が生まれました。
東大阪市は国内でも有数なもの作りの地であり事業所数は5,500以上を有しています。

今回は「こーばへ行こう！実行委員会」が主催された見学会に参加させて頂きました。

まず最初に〈大阪石材工業株式会社様〉を訪問致しました。

こちらでは主に石の加工を行っておられ、墓石の出来るまでの行程を見学しました。

丁場（石の採石所）から切り出された石は①工業用ダイヤモンドの付いた回転歯で切断され
②切断面を研磨機によりピカピカになるまで磨き上げていました。

その後③サンドブラストで文字や模様を彫刻して商品の完成となります。

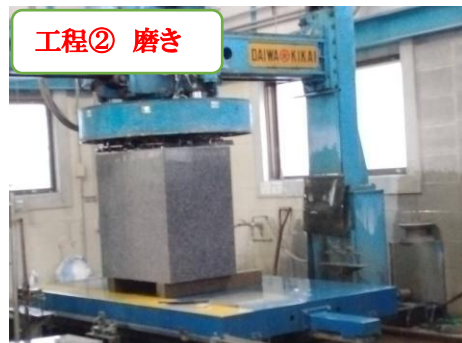
（注）サンドブラスト：非常に細かな粒子を高圧で吹き付けて物の表面を削る方法



社屋外観



工程① 切断



工程② 磨き



工程③ 彫刻



彫刻例



石割り体験

タガネとハンマーだけでの
大きな石割体験

普段目にしないお仕事の内容を見学させて頂きました。

案内して頂いた方から・・・お客様に対し

「将来に亘っての安心をお届け出来るように心掛けています」
との誠実み溢れる言葉をお聞きしました。

昼食をはさんで午後からは〈オージーケー技研株式会社様〉を訪問致しました。
こちらは主に町中でよく見かける『OGK』のマークの付いた自転車用チャイルドシート等を製造している会社です。

樹脂の射出成形と出来上がった樹脂部材の組み立てを行っていました。
組み立て完了した製品は、その日の初めの製品や昼食後の製品、終業時の製品について毎日3回製品検査をしているとの事でした。



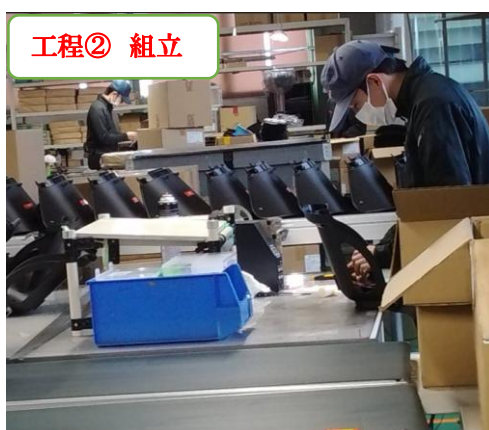
社屋外観



工程① 射出成形機



製品展示



工程② 組立



転倒安全試験

チャイルドシートという製品の特性上、特に安全面については徹底して製品検査とテストを行っておられました。

今回訪問させて頂いた2社様ともに独自の技術をもち、そして何より若さと活気に溢れており東大阪が“ものづくりのまち”といわれているのが良くわかりました。

お忙しい中、ご案内して頂いた両社の社員の皆様方に感謝申し上げます。